



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月24日

上場会社名 株式会社オービック 上場取引所 東
 コード番号 4684 URL <https://www.obic.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋 昇一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 阿南 友則 TEL 03-3245-6510
 四半期報告書提出予定日 2023年2月6日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	74,521	11.8	46,826	15.8	53,235	19.6	37,824	16.7
2022年3月期第3四半期	66,654	—	40,439	11.6	44,510	12.5	32,412	13.1

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 40,599百万円(14.5%) 2022年3月期第3四半期 35,469百万円(13.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	426.53	—
2022年3月期第3四半期	364.93	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期の売上高については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。なお、2021年3月期に当該会計基準等を適用したと仮定して算定した増減率は9.7%増であります。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	345,142	313,590	90.9	3,536.20
2022年3月期	323,927	293,567	90.6	3,310.49

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 313,590百万円 2022年3月期 293,567百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	92.50	—	122.50	215.00
2023年3月期	—	110.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	140.00	250.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

(注2) 配当予想の修正については、本日(2023年1月24日)公表いたしました「2023年3月期の期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,500	10.1	59,600	10.1	65,600	9.0	47,000	8.0	530.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	99,600,000株	2022年3月期	99,600,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	10,919,877株	2022年3月期	10,922,048株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	88,679,204株	2022年3月期3Q	88,817,670株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2022年4月21日発表の通期連結業績を修正しておりません。上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
3. 補足情報	9
受注及び売上の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における我が国経済は、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあり持ち直しの動きが見られます。ただし、海外景気の下振れによるリスクや、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等による影響に十分注意する必要があります。

当情報サービス業界においては、企業のデジタル変革（DX）への取り組みなどを背景に、企業の生産性向上や業務効率化を目的としたシステムの更新投資需要は引き続き高い状態にあるものの、先行き不透明な景況感の中で投資判断には慎重さが見られました。企業のニーズは「効率的でコストパフォーマンスの高い情報システム」にあり、さらなる顧客目線でのシステム提案が求められております。

当社は、このような状況の中、自社開発・直接販売にこだわり続け、顧客企業の経営効果を実現するため、製販一体体制のもと顧客満足度を高めるべく努めてまいりました。当社の主力である統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、会計を中心に統合的に情報を管理するERPシステムとして、製造・流通・サービス・金融等、様々な業種・業界の大手・中堅企業からシステム構築の引き合いが強まりました。システムの早期稼働につながりやすく、グループ全体の最適化やビジネス環境の変化にもスピーディに対応できるクラウドサービスのニーズにも、自社運営のクラウドセンターで提供し対応しております。また、クラウド関連施設の設備増強やセキュリティ・サービス強化、従業員のテレワーク環境整備など、安定的な事業継続や当社の持続的成長につながる先行投資も継続して進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高745億21百万円（前年同期比11.8%増）、営業利益468億26百万円（同15.8%増）、経常利益は532億35百万円（同19.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は378億24百万円（同16.7%増）となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、先行きは依然として不透明な状況が続くものと見込まれますが、今後も当社は、顧客第一主義のもと、よりコストパフォーマンスの高いシステム提案ビジネスに注力し業績の向上に努めてまいります。

セグメントの業績は次の通りであります。

(A) システムインテグレーション事業

主力の統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、統合的に情報を管理するERPシステムとして、様々な業界・業種の企業に求められました。主な傾向として、当社クラウドソリューションの採用増加に伴い、サーバー機器等のハードウェア仕入販売の売上が引き続き低水準で推移したものの、付加価値の高い「OBIC7シリーズ」のシステム構築売上については、大手・中堅企業への新規顧客開拓が進み、堅調に推移しております。

この結果、外部顧客に対する売上高は336億44百万円（前年同期比10.9%増）、営業利益は195億88百万円（同14.4%増）となりました。

(B) システムサポート事業

主力のクラウドソリューションを中心に、ソフトウェア及びハードウェアの「運用支援・保守サービス等」が好調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は359億66百万円（前年同期比15.4%増）、営業利益は260億7百万円（同18.2%増）となりました。

(C) オフィスオートメーション事業

中小企業を中心に印刷サプライやオフィス家具等の販売がやや減少したものの、主力の業務用パッケージソフトの販売については堅調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は49億10百万円（前年同期比5.0%減）、営業利益は12億30百万円（同6.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計残高については、前連結会計年度末比で212億15百万円増加し3,451億42百万円となりました。これは主に、投資有価証券が50億61百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計残高は11億91百万円増加し315億51百万円となりました。

純資産合計残高は、200億23百万円増加し3,135億90百万円となりました。これは主に、利益剰余金が172億6百万円増加したことによるものであります。結果、自己資本比率は90.9%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は1,486億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ、259億20百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、354億38百万円（前年同期比39.2%増）であります。これは主に税金等調整前四半期純利益が532億35百万円計上されたほか、利息及び配当金の受取額が42億80百万円計上された一方で、持分法による投資利益が26億68百万円計上されたこと及び法人税等の支払が162億75百万円発生したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果増加した資金は、110億97百万円（前年同期は16億89百万円の減少）であります。これは主に定期預金の払戻による収入が118億65百万円計上されたことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、206億18百万円（前年同期は229億65百万円の減少）であります。これは主に配当金の支払が206億17百万円計上されたことによるものであります。

なお、今後とも資金を企業の業績伸長のため有効に使用しつつ、「効率経営」に努めてまいり所存であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は中長期的に安定した企業の発展を考え、業績のオペレーションを行っております。当第3四半期連結会計期間末現在、業績は概ね順調に推移しております。よって、2022年4月21日に公表しました業績予想の見直しは行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	122,699	148,619
受取手形、売掛金及び契約資産	12,025	14,212
商品及び製品	68	93
仕掛品	233	203
原材料及び貯蔵品	7	0
その他	1,118	1,141
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	136,150	164,267
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,823	25,008
土地	27,636	27,636
その他（純額）	2,661	2,212
有形固定資産合計	56,121	54,857
無形固定資産		
その他	154	140
無形固定資産合計	154	140
投資その他の資産		
投資有価証券	118,570	123,632
長期預金	10,658	—
その他	2,274	2,246
貸倒引当金	△2	△0
投資その他の資産合計	131,500	125,877
固定資産合計	187,776	180,875
資産合計	323,927	345,142

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,606	4,031
未払法人税等	8,552	7,087
賞与引当金	2,372	1,336
その他	6,535	7,367
流動負債合計	21,066	19,823
固定負債		
退職給付に係る負債	5,942	6,037
資産除去債務	358	398
その他	2,992	5,292
固定負債合計	9,293	11,728
負債合計	30,359	31,551
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,178	19,178
資本剰余金	19,530	19,567
利益剰余金	265,985	283,192
自己株式	△27,562	△27,558
株主資本合計	277,131	294,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,877	19,681
土地再評価差額金	△481	△481
退職給付に係る調整累計額	39	9
その他の包括利益累計額合計	16,435	19,210
純資産合計	293,567	313,590
負債純資産合計	323,927	345,142

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	66,654	74,521
売上原価	15,931	16,921
売上総利益	50,722	57,600
販売費及び一般管理費	10,282	10,773
営業利益	40,439	46,826
営業外収益		
受取利息	1	69
受取配当金	844	2,258
投資有価証券売却益	3	—
持分法による投資利益	2,892	2,668
受取賃貸料	1,190	1,270
為替差益	—	1,906
その他	290	64
営業外収益合計	5,223	8,238
営業外費用		
賃貸費用	1,150	1,129
解約手数料	—	696
その他	2	3
営業外費用合計	1,152	1,829
経常利益	44,510	53,235
特別利益		
固定資産売却益	1	—
関係会社株式売却益	1	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	5	0
会員権評価損	19	—
特別損失合計	24	0
税金等調整前四半期純利益	44,488	53,235
法人税、住民税及び事業税	11,850	14,898
法人税等調整額	226	512
法人税等合計	12,076	15,410
四半期純利益	32,412	37,824
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	32,412	37,824

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	32,412	37,824
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,541	3,510
土地再評価差額金	213	—
退職給付に係る調整額	40	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	262	△723
その他の包括利益合計	3,057	2,775
四半期包括利益	35,469	40,599
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35,469	40,599
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	44,488	53,235
減価償却費	1,771	1,837
持分法による投資損益 (△は益)	△2,892	△2,668
投資有価証券売却損益 (△は益)	△3	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,036	△1,036
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△105	△129
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△26	78
受取利息及び受取配当金	△845	△2,327
固定資産売却損益 (△は益)	△1	—
固定資産除却損	5	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△730	△2,186
棚卸資産の増減額 (△は増加)	100	12
仕入債務の増減額 (△は減少)	282	425
その他	△1,208	195
小計	39,798	47,433
利息及び配当金の受取額	2,646	4,280
法人税等の支払額	△16,991	△16,275
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,454	35,438
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	11,865
有形固定資産の取得による支出	△1,613	△846
有形固定資産の売却による収入	3	—
無形固定資産の取得による支出	△57	△29
投資有価証券の取得による支出	△1	△2
投資有価証券の売却による収入	9	—
関係会社株式の売却による収入	234	—
その他	△262	110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,689	11,097
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△17,542	△20,617
自己株式の取得による支出	△5,422	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,965	△20,618
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	799	25,920
現金及び現金同等物の期首残高	150,745	122,699
現金及び現金同等物の四半期末残高	151,545	148,619

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

受注及び売上の状況

①受注実績

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前年同期比
システムインテグレーション事業	30,043	42.2	33,629	42.4	3,586	111.9%
システムサポート事業	35,794	50.3	40,764	51.3	4,970	113.9%
オフィスオートメーション事業	5,346	7.5	5,017	6.3	△329	93.8%
合 計	71,183	100.0	79,411	100.0	8,228	111.6%

②売上実績

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前年同期比
システムインテグレーション事業	30,328	45.5	33,644	45.1	3,316	110.9%
システムサポート事業	31,157	46.7	35,966	48.3	4,809	115.4%
オフィスオートメーション事業	5,168	7.8	4,910	6.6	△258	95.0%
合 計	66,654	100.0	74,521	100.0	7,867	111.8%

以上